

IR導入とギャンブル依存症

名古屋学院大学経済学部
佐々木ゼミ

研究の動機と目的

▶IR法案が話題となった当初は2020年の東京オリンピックに合わせてオープンするといわれていた。しかし新型コロナウイルスの影響などもあり、現時点ではオープン時期は未定の状態となっている。そんな中で大阪、長崎でのIR区域整備計画が可決され再び注目されたことが研究の動機である。

▶海外のIRと比較しながら日本でのIRによるギャンブル依存症者数を減らす、増やさないための対策を講じる。

導入

- 1.ギャンブル依存症とは
- 2.日本のギャンブルについて
- 3.世界のカジノについて
- 4.IRとは
- 5.日本の依存症対策について

1.依存症とは

特定の何かに心を奪われ、「やめたくても、やめられない」状態になること。

- 物質への依存

アルコールや薬物といった精神に依存する物質を原因とする依存症状のことを指す。

- プロセスへの依存

物質ではなく特定の行為や過程に必要以上に熱中し、のめりこんでしまう症状のことを指す。

ギャンブル依存症について

- 病的賭博という病気
- ギャンブルにのめりこむ
- 興奮を求めて掛金が増えていく
- ギャンブルを減らそう、やめようとしてもうまくいかない
- ギャンブルをしないと落ち着かない
- 負けたお金をギャンブルで取り返そうとする
- ギャンブルのことで嘘をついたり借金したりする

2.日本のギャンブルの種類

- 公営ギャンブル

- 競馬
- 競艇
- 競輪
- オートレース
- 宝くじ
- スポーツ振興くじ (toto)

『農林水産省』

『国土交通省』

『経済産業省』

『経済産業省』

『総務省』

『文部科学省』

- ギャンブル？(三店方式)

- パチンコ
- スロット

ギャンブル依存症者数

SOGS : South Oaks Gambling Screen

アメリカのサウスオークス財団によって作成された世界で最も利用されているギャンブル依存診断テスト（**5点以上**：ギャンブル依存症が疑われる）

図表 2-26 年齢調整後の SOGS 得点分布

			男性	女性	全体
SOGS 得点	5 点未満	人数	3,842	3,967	7,809
		割合	96.3%	99.3%	97.9%
	5 点以上	人数	149.3	26.2	175.6
		割合 (95% 信頼区間)	3.7%(3.2~4.4)	0.7%(0.4~1.0)	2.2%(1.9~2.5)
	全体	合計人数	3,991	3,994	7,985
		割合	100.0%	100.0%	100.0%

出所：久里浜医療センター(2021)『「ギャンブル障害およびギャンブル関連問題の実態調査」 報告書』

P.33より引用

ギャンブルをする頻度

図表 2-33 SOGS5 点以上 - 過去 1 年間でギャンブルをした頻度

単位：人数（n=165 における割合％）

ギャンブルの種類	SOGS5 点以上（n=165）における頻度		
	週 1 回未満	週 1 回以上	合計
パチンコ	74 (44.8%)	42 (25.5%)	116 (70.3%)
パチスロ	56 (33.9%)	31 (18.8%)	87 (52.7%)
競馬	20 (12.1%)	14 (8.5%)	34 (20.6%)
競輪	9 (5.5%)	0 (0.0%)	9 (5.5%)
競艇	14 (8.5%)	2 (1.2%)	16 (9.7%)
オートレース	3 (1.8%)	0 (0.0%)	3 (1.8%)
宝くじ（ロト・ナンバーズ等も含む）	56 (33.9%)	12 (7.3%)	68 (41.2%)
サッカーくじ	13 (7.9%)	4 (2.4%)	17 (10.3%)
証券の信用取引，先物取引市場への投資，FX	9 (5.5%)	7 (4.2%)	16 (9.7%)
インターネットを使ったギャンブル （競馬，競輪等を除く）	7 (4.2%)	6 (3.6%)	13 (7.9%)
海外のカジノ	1 (0.6%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)
その他のギャンブル	1 (0.6%)	1 (0.6%)	2 (1.2%)

お金を使ったギャンブル

図表 2-37 SOGS5 点以上—最もお金を使ったギャンブルの種類

ギャンブルの種類	男性	女性	全体
パチンコ	45 (34.6%)	15 (60.0%)	60 (38.7%)
パチスロ	46 (35.4%)	4 (16.0%)	50 (32.3%)
競馬	16 (12.3%)	1 (4.0%)	17 (11.0%)
競輪	3 (2.3%)	0 (0.0%)	3 (1.9%)
競艇	6 (4.6%)	0 (0.0%)	6 (3.9%)
オートレース	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
宝くじ (ロト・ナンバーズ等も含む)	7 (5.4%)	4 (16.0%)	11 (7.1%)
サッカーくじ	1 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)
証券の信用取引, 先物取引市場への投資, FX	4 (3.1%)	1 (4.0%)	5 (3.2%)
インターネットを使ったギャンブル (競馬, 競輪等を除く)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
海外のカジノ	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他のギャンブル	2 (1.5%)	0 (0.0%)	2 (1.3%)
全体	130 (100.0%)	25 (100.0%)	155 (100.0%)

ギャンブルによる違い

- パチンコが経験や頻度、金額において他のギャンブルに比べ高い割合を占めている。

パチンコが他のギャンブルに対し、なぜ割合が大きいのか？

考えられるパチンコ依存症が多い理由

- 還元率の高さ
- 店舗数の多さ
- 宣伝広告
- 依存を生みやすい仕組み（ニアミス効果）

店舗数の多さ

- パチンコ 7279箇所
- 競馬（地方・中央合計） 27箇所
- 競輪 43箇所
- 競艇 24箇所
- オートレース 6箇所

還元率

- 掛け金に対しどれほどリターンが期待できるかを確率から算出したもの。

パチンコ&スロット	競馬,競艇,競輪, オートレース	スポーツくじ	宝くじ
約85%	約75%	約50%	約45%

一方...

- カジノ

... 約95~102%

宣伝広告

禁止語句

- 当たりやすさを想像させるもの
- 商品買取に関連するもの
- 遊技料に関わる規制違反がうかがわれるもの

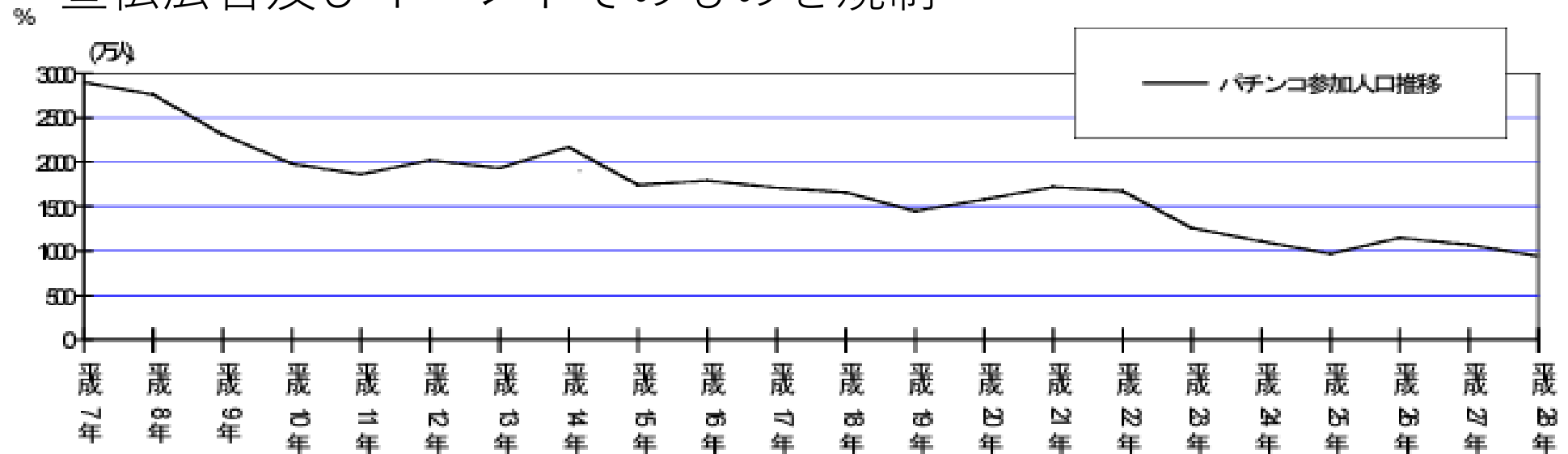
	釘状態	客 数(平均人数)	N=29
広告宣伝あり	3.67	284.83 (旧イベント345.00 新台入荷134.25 合同482.00* ⁴)	
広告宣伝なし	2.71	74.90	※合同とは旧イベントと新台入荷が重なった日

遊技人口推移

H7年からH28年まで、減少傾向にある。

〈減少傾向にある要因〉

- H23年の東日本大震災
業界が広告宣伝活動の制限・自主規制
- H24年「丁保発102号」発令に伴う広告規制
宣伝広告及びイベントそのものを規制



依存を生みやすい仕組み

- ニアミス効果

負けていても、勝った時のような感覚を脳に与えギャンブルを続けたいと思わせる効果。

- サンクコスト（埋没費用）

すでに費やした時間や費用を取り返そうとする心理が働き、冷静な判断ができなくなってしまう現象

3.世界のカジノ

カジノとは

4ヶ国のカジノのルール、ギャンブル依存症率の紹介

- ラスベガス
- シンガポール
- マカオ
- 韓国

カジノとは

カジノ営業の仕組み及び代表的なゲーミングの種類

【カジノ営業の収益の仕組み】

カジノ側に確実な収益を保证する仕組み（ハウスエッジ（下記2通り））により、営業として儲けることが可能となる。

- ①ゲームのルールやゲーミングマシンにあらかじめ「胴元の有利さ」を組み込んでおき、ゲームが大量回数行われることにより、「大数の法則」を通じ、確率的に計算された期待収益額に近似した収益額をカジノ側が上げる方法
- ②顧客の賭け金の総体からカジノ側が最初に一定割合（控除率）を天引きし、残額を勝利者に払い戻す方法

名 称	ル ー ル 概 要	
ルーレット	数字及び色が付された38あるルーレットの目の中から、ボールが落ちる目の数字又は色を予想するゲーム。	
ブラックジャック	ディーラーとプレイヤーの勝負で、配られたカードの数字の合計数が21に近い方が勝利者となるゲーム。	
バカラ	直接勝負に参加するものではなく、バンカーとプレイヤーのうちどちらが勝つかを予想するゲーム。両者に配られたカードの合計数の下一桁の数字が9に近い方が勝ちとなる。	
大小	ディーラーによって振られる3つのサイコロの数字の合計数や組み合わせを予想するゲーム。	



ラスベガス

【カジノ運営方法】

設置ゲーム数に応じた定額ライセンス料、審査書類提出によってライセンスが発行される

21歳未満の入場禁止

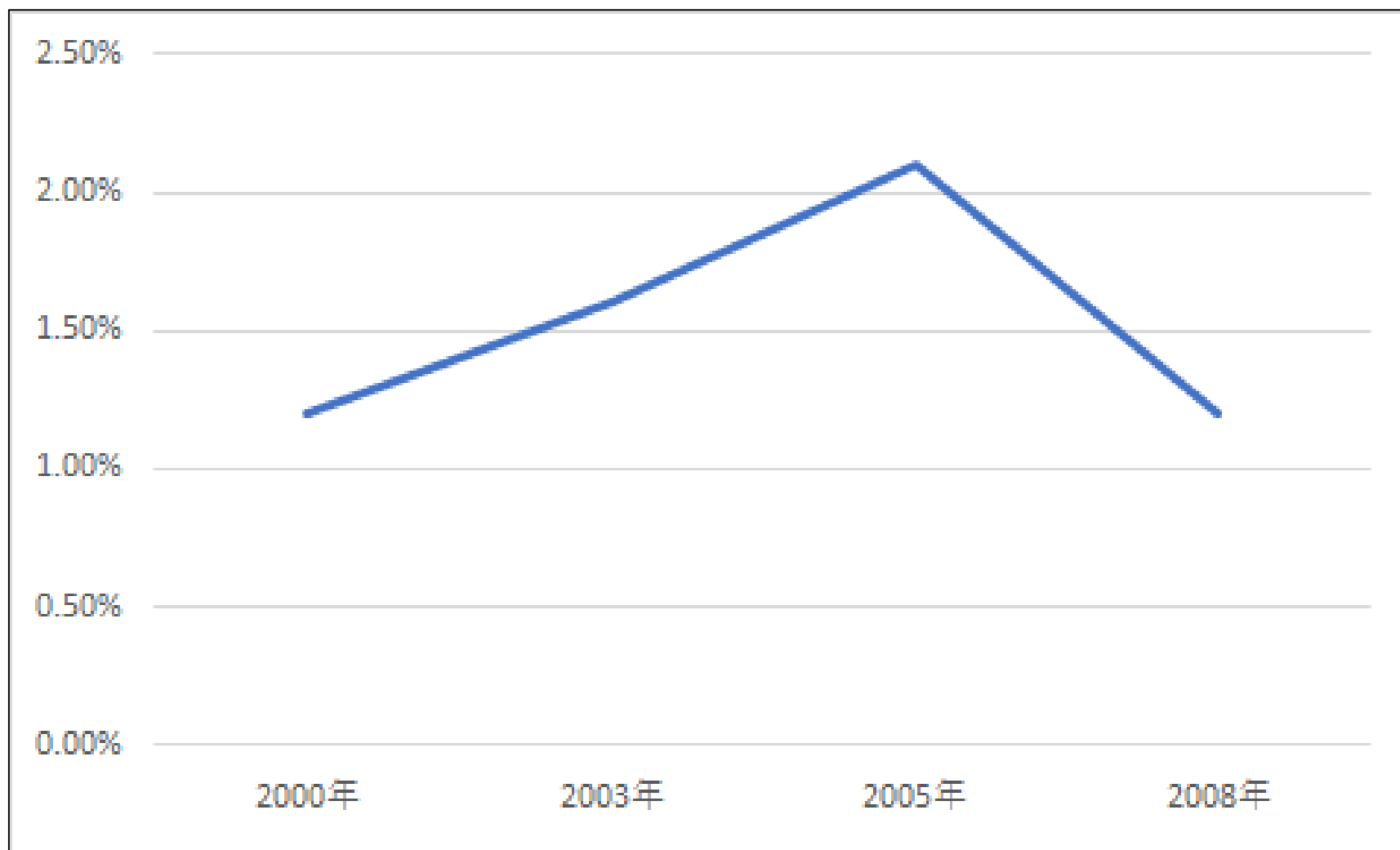
マネーロンダリング対策

【依存症割合】

	2000年	2003年	2005年	2008年
推定有病率	1.2%	1.6%	2.1%	1.2%

出所：THE POPULATION PREVALENCE
OF PROBLEM GAMBLING P.39の表より引用

推定有病率の推移



シンガポール



【カジノ運営方法】

カジノ管理法により多くの制限がかけられている。（運営方法、入場制限、マネーロンダリング対策、広告規制、ライセンス取得など規定）

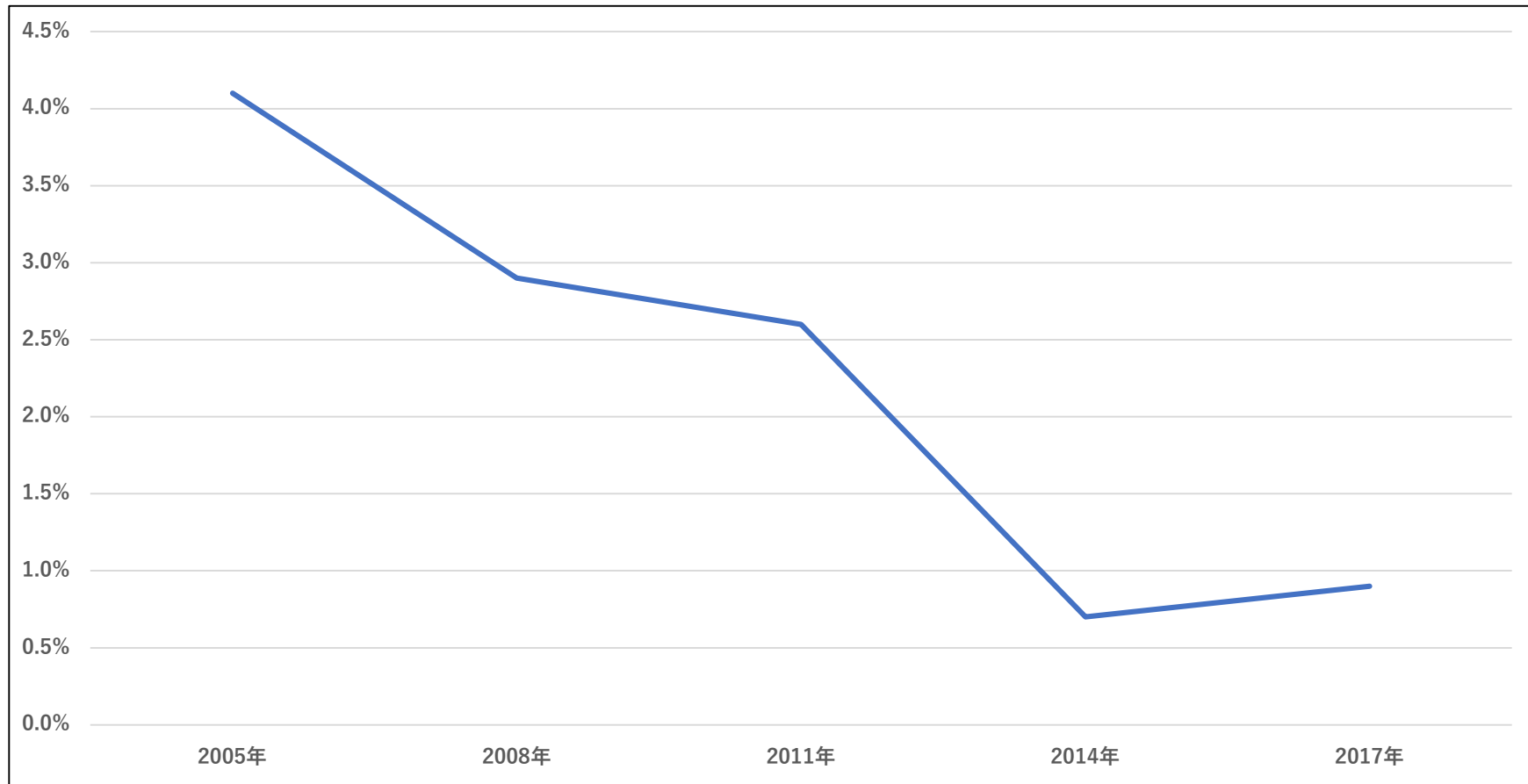
- ・ライセンスの付与を2施設に限定。新規参入は不可。
- ・21歳未満の入場の禁止。
- ・入場料は国民は24時間ごとに150S\$（約1万4千円）を支払うか、年間3,000S\$（約29万円）を支払う。

【依存症の割合】

	2005年	2008年	2011年	2014年	2017年
推定有病率	4.1%	2.9%	2.6%	0.7%	0.9%

出所：問題賭博全国協議会ホームページ
(<http://www.ncpg.org.sg/en/Pages/Home.aspx>)

推定有病率の推移





マカオ

【カジノ運営方法】

21 歳未満の者がカジノへ入場することを禁止。

マカオでは原則としてギャンブルは禁止。法律で認められた場合に限りギャンブルを行うことが認められている。

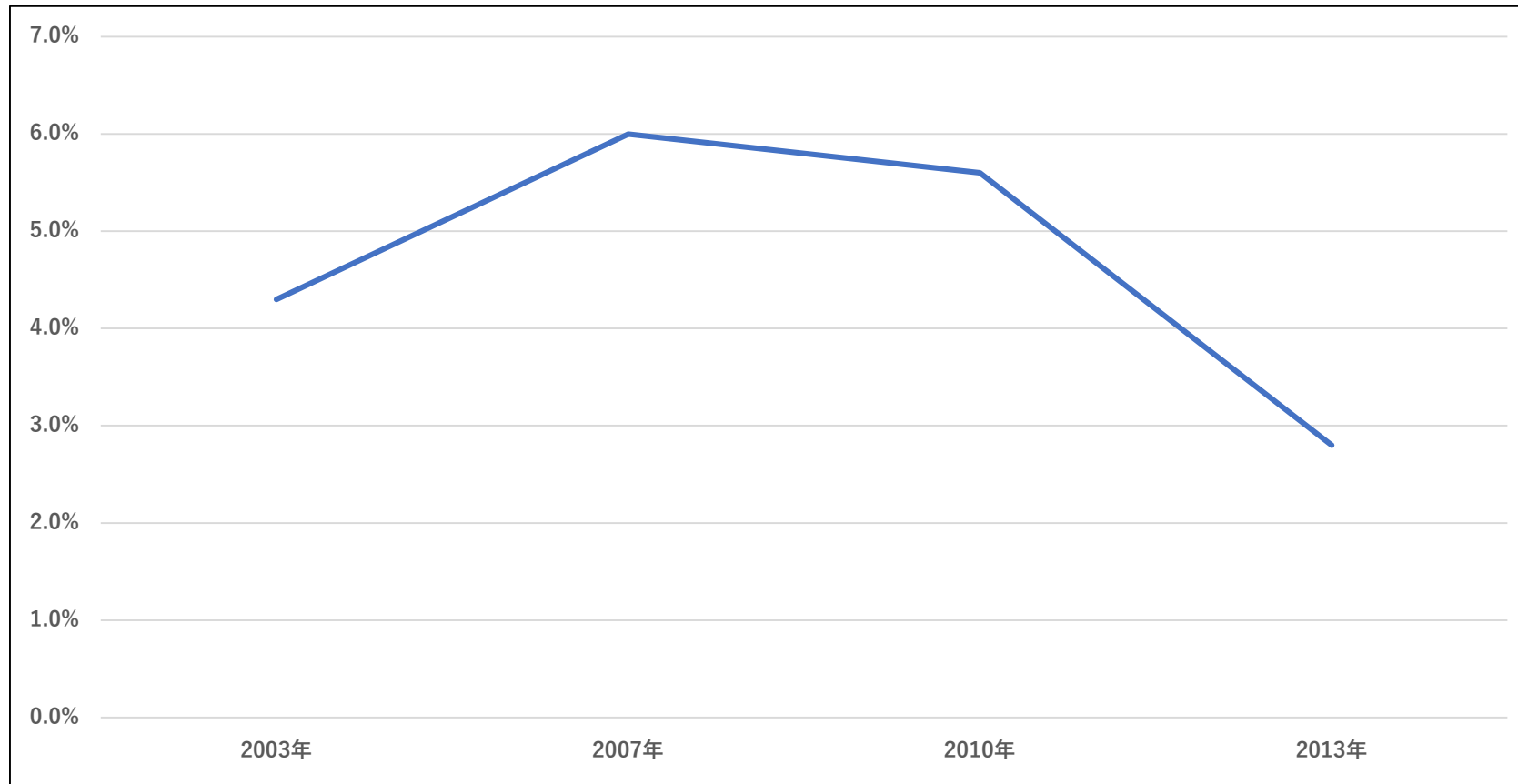
かつてマカオのカジノビジネスは1社に独占されていたが、2001年に経営権が開放されて以降、米国や香港などのカジノ事業者がマカオのカジノ事業に参入。

【依存症の割合】

	2003年	2007年	2010年	2013年
推定有病率	4.3%	6.0%	5.6%	2.8%

出所：Report on Responsible Gambling 2009-2013
P.57の表より引用

推定有病率の推移



韓国



【カジノ運営方法】

17カ所のカジノ施設があり、このうち16カ所が外国人専用。

〈江原ランド〉（内国民が唯一利用可能なカジノ）

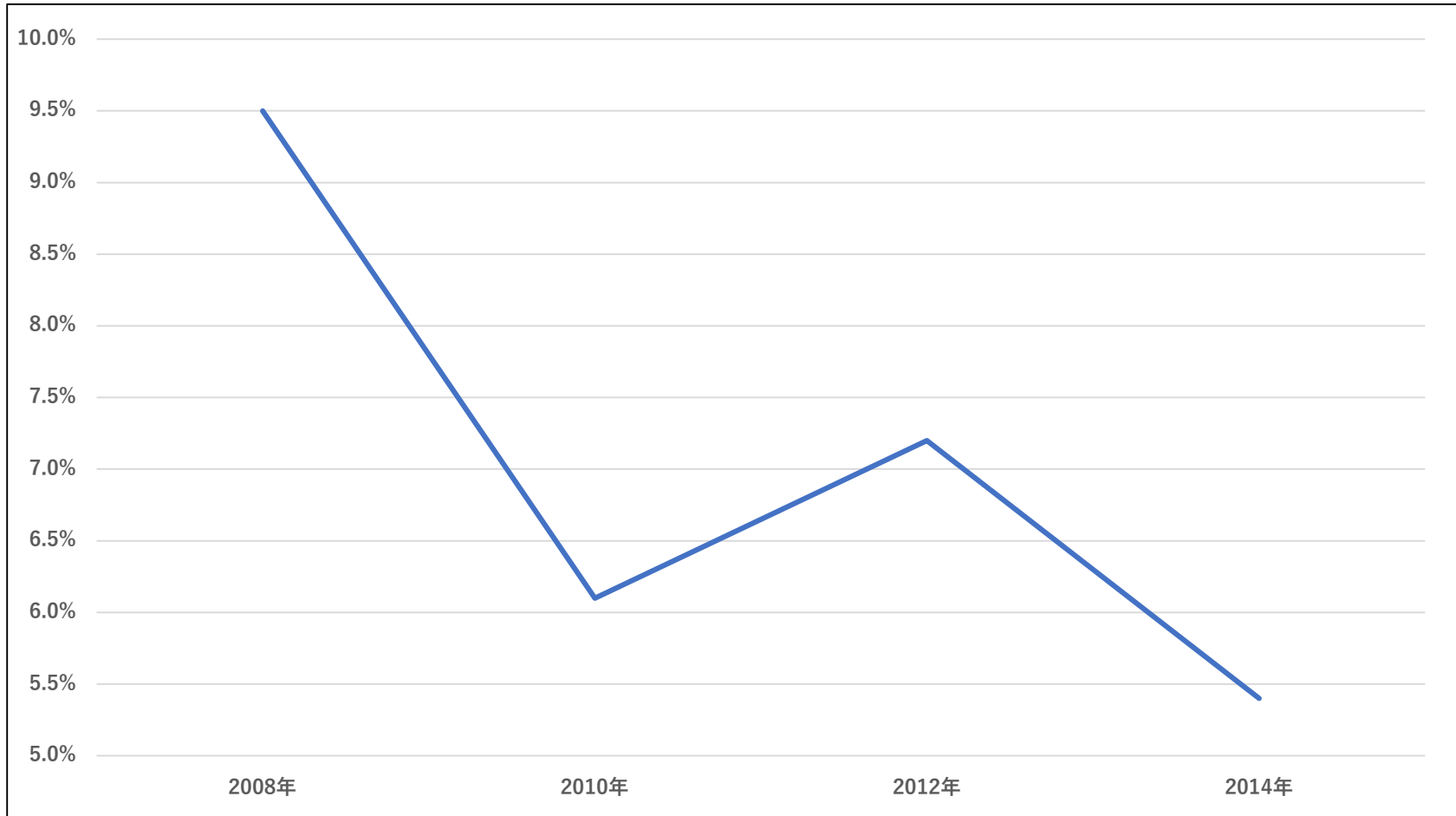
- ・ 入場時9,000ウォン(約950円)。
- ・ 19歳未満は入場不可。パスポート必須。
- ・ 住民登録番号による入場規制が行われている。
- ・ 法律により午前6時から午前10時は営業禁止とされている。

【依存症の割合】

	2008年	2010年	2012年	2014年
推定有病率	9.5%	6.1%	7.2%	5.4%

出所：射幸産業統合監督委員会ホームページ
(<http://www.ngcc.go.kr/NGCC.do>)

推定有病率の推移



そんな状況で導入されたカジノ法案ともいわれる
IR法案とは何なのか

IR法案とは

(目的) 第一条 この法律は、特定複合観光施設区域の整備の推進が、観光及び地域経済の振興に寄与するとともに、財政の改善に資するものであることに鑑み、特定複合観光施設区域の整備の推進に関する基本理念及び基本方針その他の基本となる事項を定めるとともに、特定複合観光施設区域整備推進本部を設置することにより、これを総合的かつ集中的に行うことを目的とする。

(基本理念) 第三条 特定複合観光施設区域の整備の推進は、地域の創意工夫及び民間の活力を生かした国際競争力の高い魅力ある滞在型観光を実現し、地域経済の振興に寄与するとともに、適切な国の監視及び管理の下で運営される健全なカジノ施設の収益が社会に還元されることを基本として行われるものとする。

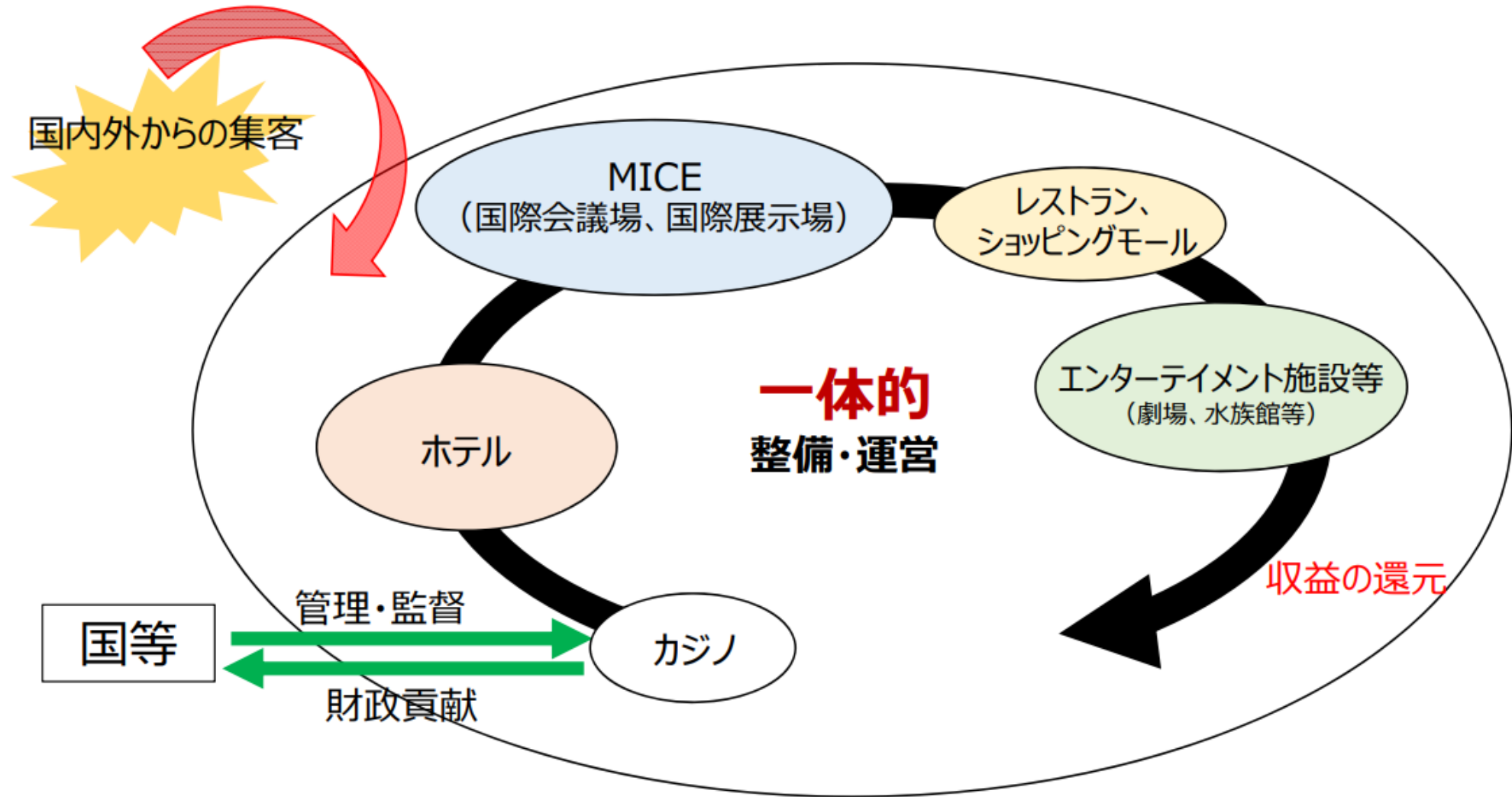
出所：特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案より一部引要

(<https://elaws.e->

[gov.go.jp/document?lawid=428AC1000000115_20210901_503AC0000000036&keyword=%E7%89%B9%E5%AE%9A%E8%A4%87%E5%90%88](https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=428AC1000000115_20210901_503AC0000000036&keyword=%E7%89%B9%E5%AE%9A%E8%A4%87%E5%90%88))

4.IRとは

- IRとは、カジノのほかホテルや劇場、国際会議場や展示会場などのMICE施設、ショッピングモールなどが集まった複合的な施設のこと。Integrated Resortの頭文字の略で、統合型リゾートとも呼ばれる。21世紀に入ってから日本でもラスベガスやマカオ、シンガポールのような集客施設を作り、国際観光推進に役立たせたいとの動きが出てきた。2002年に超党派の議員連盟が発足し、2013（平成25）年、2015（平成27）年にカジノ解禁を柱とした「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案（IR推進法案）」が国会に上程された。2016（平成28）年「IR推進法」が成立、2018年4月には「IR実施法案」が閣議決定、同年7月20日に成立している。



出所：諸外国におけるIRについて スライド1より引用

(https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ir_promotion/ir_kaigi/dai1/siryou4.pdf)

Meeting：主に企業が、目的に応じて関係者を集めて行う会議、研修、セミナー。

Incentive Travel：企業が、従業員や代理店などの関係者に対して、成績優秀者の表彰や研修、顧客の招待などを目的に行う報奨旅行や研修旅行。

Convention：政府、国際機関、自治体、学術団体、産業団体、企業などが開催する、大規模な国際会議。

Exhibition/Event：政府、国際機関、自治体、学術団体、業界団体、企業などが開催する、大小さまざまな展示会、見本市、博覧会、イベント。

MICEについて

MICEは、企業活動や研究・学会活動等と関連している場合が多いため、開催地域への集客がもたらす経済効果や観光振興の側面だけでなく、ビジネスチャンスやイノベーションの創出を促したり、都市の知名度やブランドイメージを上げたりするなど、様々な波及効果が期待できます。そのため世界の国や地域が、積極的にMICEの誘致・開催に取り組んでいる。

IR法案のメリット

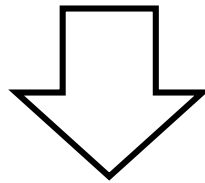
- 富裕層のインバウンド誘致が挙げられ、消費や税収の増加などの経済的なメリットが見込まれます。
- 交通機関などのインフラを整備することから、地域の活性化も考えられ、IR関連での雇用促進も期待されます。

IR法案のデメリット

- ギャンブル依存症への懸念が大きい
- マネーロンダリング
- 治安の悪化

日本は何をしたいのか

1. 世界初のIR法制度
2. 魅力ある「日本型IR」
3. 諸外国と比較して遜色ない世界最高水準のカジノ規制



公共政策としての「日本型IR」の実現を通じて、「観光先進国」の実現

日本のIR法案（IR整備法）

設置箇所上限	3か所
入場料	1 回あたり約6,000円の徴収
入場回数	過去7日間に3回以上、また28日間に10回以上施設に入場したもの
カジノ税	事業者はカジノにより得た収入の30%を納税義務
本人確認方法	マイナンバーカードの活用
箇所数の見直し	最初のIR認定から7年後

出所：カジノ法案（IR整備法）成立！内容と問題点を弁護士が5分で解説！
https://topcourt-law.com/new_business/casino-law

日本と海外との比較

	日本	ラスベガス	シンガポール	マカオ	韓国
入場料	6,000円	無料	24時間ごとに 8000円または 年間16万円 外国人は無料	無料	外国人は無料
入場回数	過去7日間に3 回以上、また 28日間に10回 以上施設に入 場したもの	制限なし	制限なし	制限なし	江原ランド 15回/月 近隣住民は1回
入場年齢	20歳以上	21歳以上	21歳以上	21歳以上	19歳以上

5. 日本の依存症防止対策について

入場に係る対策

- 日本人等の入場回数を制限
- 入場時に日本人等への確認
- 日本人等に入場料を賦課
- 20歳未満の入場禁止

広告等に係る対策

- IR区域以外でのカジノ事業に関する広告物等の設置を原則禁止
- 広告・勧誘の方法が適切なものとなるよう、カジノ管理委員会
が広告勧誘指針を作成・公表
- 20歳未満を対象とする広告・勧誘の禁止

出所：スライド39に同じ

事業者の責任の明確化

- 事業者に相談窓口の設置等の義務付け
- 事業者へ、本人・家族申告による申告による利用制限措置を義務付け
- 従業者への教育訓練等の措置等を含む内部管理体制の整備を義務付け

まとめ

- ギャンブル依存症対策は十分か、過剰ではないか
- 魅力のあるものになっているのか
- IRは観光先進国への足掛かりになれるのか